

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-15570

(43)公開日 平成5年(1993)1月26日

(51)Int.Cl.⁵

A 6 1 H 33/10

A 4 7 K 3/22

F 2 4 D 17/00

識別記号

A 7720-4C

7150-2D

6909-3L

F I

F 2 4 D 17/ 00

技術表示箇所

A

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号

特願平3-171030

(22)出願日

平成3年(1991)7月11日

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 安堂 英夫

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(74)代理人 弁理士 小銀治 明

(54)【発明の名称】 高温ミストシャワー装置

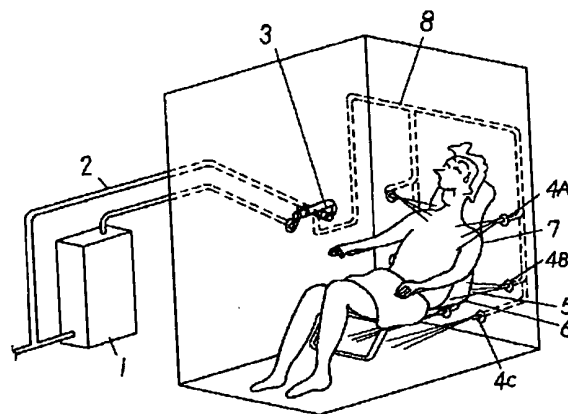
(57)【要約】

【目的】 省スペース空間で、ゆったり座りながら入浴感が簡便かつ安価に得られるシャワー装置を提供する。

【構成】 最高温度50℃、粒径200～600ミクロンの高温ミストを、複数の噴出ノズルより4A、4B、4Cより座位人体7に噴射し、顔面を除く体表面を高温ミストで包むものである。

【効果】 高価でスケール対策の必要なスチーム発生器を用いず、通常の給湯機と噴出ノズルにより得た高温ミスト浴を、椅子に座ったままできるので、ゆったりした入浴感が得られる。また顔面付近で高温ミスト雰囲気を作らないので、スチームサウナで感じるような息苦しさが低減される。

1 給湯機
2 配管
3 噴出ノズル
4A 高温ミスト
4B 高温ミスト
4C 高温ミスト
5 高温ミスト
6 高温ミスト
7 人体



【特許請求の範囲】

【請求項1】給湯機と、この給湯機から供給される湯を高温ミストにしかつ人体の体表面を包むように噴出する複数の噴出ノズルとを備えたシャワー装置。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】本発明は、簡便安価に実現できて入浴感が得られる高温ミストシャワー装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】シャワー入浴は入浴準備の手軽さ、節水効果、省エネルギー、省スペースなどの特徴から、簡便な入浴手段として、慣習化してきている。

【0003】一方、ガス瞬間給湯機あるいは超音波振動子を用いて発生させたスチームを浴室に充満させて、スチームサウナ入浴を実現する方法も、近年定着してきている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら上記従来のシャワー入浴では、暖まりにくい、リラックスした気分は味わえないなどの日本の伝統化した風呂文化に根ざす課題がある。

【0005】一方スチームサウナ入浴では高価でスケール対策の必要なスチーム発生器を別設置する必要があるなどの課題があった。

【0006】本発明は、上記課題を解決するために複数の噴出ノズルより高温ミスト霧状のシャワーを人体に噴出し、スチームサウナ的な入浴感を省スペース空間で簡便安価に得ることを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記の目的を達成するために、給湯機と、この給湯機から供給される湯を高温ミストにしかつ人体の体表面を包むように噴出する複数の噴出ノズルとを備えたものである。

【0008】

【作用】本発明は、上記した構成によって、特別のスチーム発生器を用いずに、スチームサウナ入浴の環境をつくりだす。

【0009】

【実施例】以下、本発明の一実施例を図1、図2を用いて説明する。図1は、複数の噴出ノズルより高温ミストを噴出し、座位人体の顔面を除く体表面を高温ミストで包むシャワー装置の構成図である。図2は、本発明に使用した粒径200～600ミクロン（水圧1.0kg/cm²時）のミストを得る噴出ノズルの主要断面図である。

【0010】図において、給湯機1からの湯および給水管2からの水を湯水混合栓3によって40～50℃の湯

温に調整し、給湯配管8を通して200～600ミクロンの粒径として噴出する複数の噴出ノズル4A、4B及び4C等が設けられている。そして、これらの噴出ノズル4A、4B及び4C等から噴出された高温ミスト5は椅子6に座る人体7の顔面を除く体表面に噴出し、体表面を包んでいる。

【0011】なお、噴出ノズル4A等の先端部4Pの上流側には球状に形成された回転部4Qが設けられ、この回転部4Qを回転自在になるようにホルダー4Rが保持しているので、噴出ノズルから噴出される高温ミストの噴出方向は自由に変えられる。

【0012】ところで一般的なスチームサウナでは70～100℃のしめり蒸気が浴室に噴出されている。そしてこのしめり蒸気が噴出した際、浴室の室温雰囲気により冷却され飽和水蒸気の温度が50～70℃で粒径が0～100ミクロンのミストとなり、浴室に濃い入浴者の身体を包み、暖めている。

【0013】また、通常のシャワーでは温度が30～45℃で粒径が0.3～2ミリメートルの水滴が入浴者の身体に直接吹き付けられ、汗などを流し落している。

【0014】本発明の一実施例の場合には、上記したスチームサウナの場合とシャワーの場合の丁度中間の状態に相当する高温ミストの雰囲気で入浴者の身体を包む温熱環境を作っている。

【0015】したがって、椅子に座ったまま高温ミスト浴できるので、ゆったりした入浴感が得られる。また、顔面付近で高温ミストの雰囲気を作らないので、スチームサウナで感じるような息苦しさが低減される。

【0016】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように本発明の高温ミストシャワー装置は次のような効果を有している。

【0017】給湯機と噴出ノズルとを用いて得た高温ミストを入浴者の身体に吹き付け、この高温ミストで身体を包むことにより、浴室をスチームで満たすことによって実現していたこれまでのスチームサウナに似た入浴感を、簡便に得ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例における高温ミストシャワー装置の外観斜視図

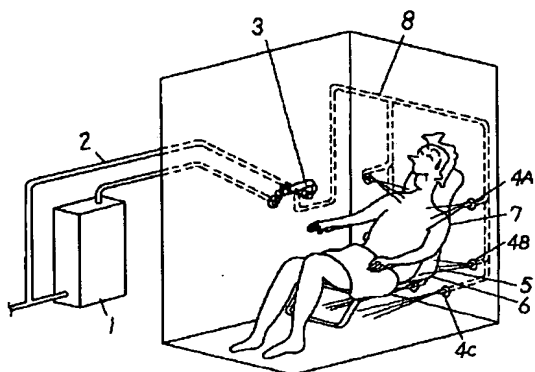
【図2】同装置に使用される噴出ノズルの断面図

【符号の説明】

- 1 給湯機
- 4A、4B、4C 噴出ノズル
- 5 高温ミスト
- 7 人体

【図1】

1 給湯機
 4A, 4B, 4C 噴出ノズル
 5 高温ミスト
 7 人



【図2】

